

# IT駆使し取扱事業拡大

## WebKIT 荷物・車両成約1位

### 福岡ロジテック

【福岡】取扱事業や長距離輸送の福岡ロジテック（永山美由紀社長、福岡県宇美町）は、情報技術（IT）を駆使してコンプライアンス（法令順守）や「2024年問題」対策、業容拡大に取り組んでいる。永山祐資専務を委員長とするデジタル委員会が、ソフトの開発からシステムの運用・改良を行う。永山氏は「操作しやすく、目的や効果が分かりやすいアプリからスタートすることで『落ちこぼれを出さない』DX（デジタルトランスフォーメーション）を心掛け、ITの着実な浸透を図って

いる」と話す。

委員会では、これまでに情報共有のグループウェアや、乗務員の運転時間、休日数、安全研修・健康診断の受診状況などが誰でも分かる勤怠管理システムなどを開発。交通事故防止とコンプライアンス、労働時間削減に大きな効果が表れている。社員から課題や改善の意見を求め、頻繁にバージ

ョンアップを重ねてきた。IT導入で最も効果が見られるのが取扱事業の分野だ。日貨協連の2022年度WebKIT表彰では、荷物情報成約件数、車両情報成約件数の両部門で全国1位、荷物情報成約件数では9連覇を果たした。

子会社の福岡ロジテック関東（関屋雄一社長、茨城県ひたちなか市）と合わせたWebKIT取扱高は全国でトップクラス。JL連合会での取扱高も高水準で推移している。



WebKIT表彰の記念盾を持つ永山専務（左）と福岡ロジテックの永山浩二代表

好調な業績を支えるのが、配車マッチングの「ロジサマリー」だ。グループ会社の福岡ロジテック九州（永山美由紀社長、宇美町）が開発したシステムで、荷主企業や協力運送会社の取引実績を分析し、需要予測